

## 特殊建築物等概要書

		作成年月日 平成 . . .		整理番号							
1	建築物の名称	用		途							
2	建築物等の所在地	住居表示									
		地名・地番									
3	建築主住所・氏名	電話( )				番					
4 延べ面積 m <sup>2</sup>	用途	階	階	階	階	階	階	階	階	計	
	計										
5	構造種別					6	工事種別	新築	増築	改築	
7	階数	地上	階	/	地下	階	最高の高さ	m			
8	敷地等の状況	敷地面積		m <sup>2</sup>		建築面積		m <sup>2</sup>			
		法定建ぺい率		%		法定容積率		%			
		用途地域				防火地域					
9	建築設備	換気設備	有	無	自然換気		機械換気 <small>(防火区画を貫通する防火ダンパー 有・無)</small>	中央管理方式 <small>(防火区画を貫通する防火ダンパー 有・無)</small>			
		排煙設備	有	無	自然排煙		機械排煙				
		非常用の照明装置	有	無	電池内蔵方式		蓄電池別置型		自家用発電装置		
		昇降機	有	無	エレベーター		エスカレーター		小荷物専用昇降機		
10	既存建築物の確認番号	昭和	年	月	日	第	号				
11	完成予定日	平成	年	月	日						
12	確認番号	平成	年	月	日	第	号				

- 〔注意〕 (1) 複数の棟がある場合は、棟ごとに作成してください。  
 (2) 建築物が複合用途に供されている場合は、用途欄にすべての用途を列記してください。  
 (3) 該当事項は、 で囲んでください。  
 (4) 増築又は改築の場合は、既存建築物の確認番号を記入してください。  
 (5) ダンパー等は、建築基準法施行令第112条第16項の規定により設けなければならないとされる特定防火設備又は防火設備で温度ヒューズホルダー又は熱感知器若しくは煙感知器と連動して自動的に閉鎖するものに限りません。  
 (6) 印欄は、記入しないでください。